# シルバーいちのみや

令和４年
会報 8 月号

| | |
|---|---|
| 会員数 | 1，035 人 |
| 男　性 | 685 人 |
| 女　性 | 350 人 |

（7月20日現在）

題字　一宮市長　中野正康　氏
発行（公社）一宮市シルバー人材センター
〒491-0036　一宮市桜1-12-1（思いやり会館内）
編集　広報委員会会報班　TEL(0586)71-0105　FAX(0586)73-4367

もくじ

⑴ 安全就業委員会開催
⑵ 安全パトロール、一宮モーニング
⑶ 一宮の史跡散歩
⑷ 文芸、その他情報

事故防止　急ぐな　あせるな　気を抜くな
安心・安全・親切・丁寧

全国シルバーのスローガン
一宮市シルバー人材センター基本目標

## 令和４年度 第１回安全就業委員会開催

去る7月14日㈭に令和４年度第１回安全就業委員会が開催され、稲盛委員長を議長として次の議題について議論されました。

議題
① 令和３年度事業報告について
② 会員事故状況について
③ 令和４年度事業計画について
④ 安全目標及び管理目標について
⑤ 安全就業事業報告について
⑥ 会員事故状況について
⑦ 安全就業強化月間について
⑧ 安全就業推進キャンペーンについて
⑨ 安全標語優秀作品候補の選考について
⑩ その他

令和３年度の事故件数は16件で令和２年度と比較すると１件の増加となっています。

事故の内訳は、草刈り作業中の飛び石事故５件、清掃中の不注意３件、転倒２件、片付け・回収２件、就業途上１件、剪定作業後の不注意１件、草取り作業中２件でした。

相変わらず草刈り作業中の飛び石事故が減りません。作業前に現場の状況を確認し、駐車してある自動車等の移動や防御ネットの設置を必ず行ってください。

また、センターのパッカー車で、残材処理作業終了後に会員がピットに落下する事故が発生し、本人のケガはもとより関係各所にも多大な迷惑をかけてしまいました。

一方、剪定作業中の事故は前年の５件から０件となっており、剪定会員皆さんの努力に感謝しております。

今年度の状況は、7月14日現在、５件の事故が発生しております。この時期は、暑さ、注意力散漫、判断ミスによる事故が懸念されます。事故防止のためにも、適度な休憩をとり就業するよう心掛けてください。

今後も「安全は全てに優先する」を念頭に安全就業に努めましょう。

## 猛暑につき熱中症注意

今年は梅雨明けが、６月末に宣言され、各地で異例の猛暑が続いています。

猛暑の中での作業は、熱中症が心配されますので、熱中症予防として次の点に注意してください。

マスク等を着用したままの作業は息苦しく暑いため、屋外の作業で十分な距離が確保できる時は、就業状況により、マスク等を外しましょう。

また、就業時間が定時でなければ、炎天下での作業は、できる限り朝夕の短時間とし休憩を多くとり、のどが渇いていなくても、こまめな水分補給をしましょう。

# 第1回安全適正就業パトロールを実施

安全就業強化月間中の7月22日㈮に安全就業推進員と事務局職員の各1名にて安全就業パトロールを実施しました。

今回の巡回先としては、今伊勢駅の駐輪場と一宮市温水プールの駐車場の2ヶ所で、会員3名が就業中でした。

巡回先の会員3名は、適切な服装とこまめな休憩を心掛けており、安全に配慮した就業への姿勢を確認することができました。

各所での指摘事項は、

①熱中症対策として、こまめな水分補給と休憩を心掛ける。

②事故防止の為の安全確認表を会員に配布し、就業前に記入してもらう。

③就業先への途上事故に注意する。

④就業中のトラブルがあれば、すぐに事務所へ連絡してもらう。

⑤熱中症対策を十分に行う。

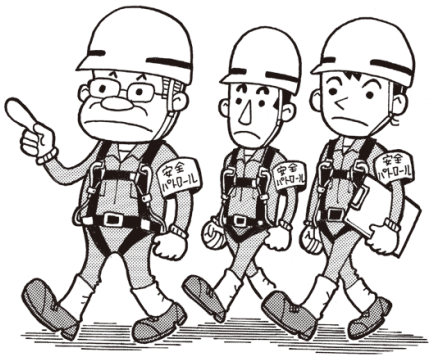
⑥貸与した名札は必ず着用する。

⑦安全就業ワッペンを必ず着用する。

でしたが、今後も引き続き安全第一の就業を継続してもらうよう呼びかけました。

今後も巡回パトロールを通して、安全な就業への啓発を行って参ります。

駐輪場でのパトロールの様子




## 一宮モーニング #16

今回（16回目）ご紹介するのは、松降交差点を大雄会病院方向に進み、道なりで155号線を小牧方面に約4㎞行った所（千秋町佐野字運動場前22）にある「リーフ珈琲」のモーニングです。

天井が高く広々としてゴージャスな感じの店内で、コーヒー等のドリンクに、トースト（バター、ジャム、小倉、エッグ等）、ホットドックまたはサンドイッチ（数量限定）のいずれかにポテトサラダ、オレンジ、茶碗蒸しが付いて420円（税込）。またプラス380円（税込）で、今回チョイスしたフルーツサンド、オムカレーまたはリーフドックのセットが味わえます。何ともデリシャスなモーニングでした。

モーニングタイムは、午前7時から午前11時30分までで、定休日は不定休です。

「リーフ珈琲」のモーニング

令和３年度安全標語　最優秀作品　（宮西）服部清男

**安全は　無理せず　無茶せず　油断せず**

# 一宮の史跡散歩

## 酒見神社

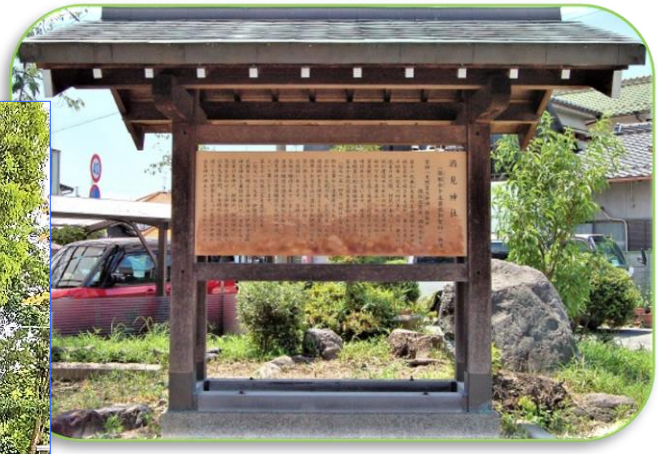
酒見神社（さかみじんじゃ）は、一宮市今伊勢町本神戸にある神社で、倭姫命（やまとひめのみこと）が滞在した「中嶋宮」の跡とされ、元伊勢の一つとなっています。天照皇大御神のほか、酒造の神である酒弥豆男神（さかみずおのみこと）・酒弥豆女神（さかみずめのみこと）を祀っており、本殿の裏にある倭姫神社に倭姫命が祀られています。

酒見神社の二の鳥居と拝殿

第十一代垂仁（すいにん）天皇の第四皇女倭姫命は勅名を受けられ、天照皇大御神の霊代を永久にお祀り出来る地を求めて伊勢の地へ旅される途中、垂仁天皇14年（紀元前16年）、美濃国伊久良河宮（現岐阜県瑞穂市居倉天神神社と伝えられる）から尾張の神戸であった当地にしばらく滞在し、神体を宮山に祀りました。その後、地元の人々によって社殿が作られたのが当社の始まりであると伝えられています。社伝によれば、その時の社殿は全て丸い柱で造られ、草葺きの屋根で吹き抜けであったということです。

当地は上質の米が取れる事から斉衡３年（８５６年）、第五十五代文徳天皇の勅命により伊勢神宮から、遣唐使でもあったと言われる大邑刀自（おおむらとじ）、小邑刀自（こむらとじ）の２名の酒造師がこの地に派遣され、伊勢神宮にお供えする御神酒を造ったと伝えられています。このことから、清酒の醸造が最初に行われた所と言われています。「酒見」の社名もこれに因るものです。当時、どぶ酒等は各地で醸造されていましたが、清酒の醸造は酒見が最初であり、酒見神社が清酒醸造の元祖の神社という事です。

第七十一代後三条天皇延久元年（１０６９年）伊勢内宮より式典等に明るい神宮神主の伊勢守良明に神宮神主と兼任の体にて二百石を与え、従来の本神戸、新神戸、新加神戸に馬寄を合わせて今伊勢の庄の名を賜り、以来９００年間、平安時代より明治時代を通じて代々世襲をもって尾張今伊勢の庄神戸神主たりと定められたのです。



酒見神社の案内板

神馬の銅像

# 会員の文芸

## 川柳

空梅雨に　木曽川枯れて　作成らず
（木曽川）桐田恵行

この暑さ　八月怖い　八十二歳
（大和）越野高光

いつまでも　無料じゃ乗れない　新幹線
清々しい高原ドライブ　ガソリン高く空高く
（大和）伊藤勝義

## 短歌

雨上がり水溜りには小鳥らの
水浴び忙し朝の公園
小鳥らは若葉の陰に見え隠れ
高き囀り風に乗り行く

# ことば歳時記（葉月）

◎秋麗（あきうらら）
秋のよく晴れた日をいう。春の「麗か」と似かよう。美しく輝き、心がうっとりするような日和。

◎一位の実（いちいのみ）
イチイ科の木になる果実。九月頃に赤く熟す。食べると甘いが種子に毒がある。木は庭木や生垣にも用いられる。正一位、従一位などの高官が儀式のときに持つ笏の素材にこの木が使われたことから「一位」と名付けられた。鉛筆の材として日本産中最良で、その他建築、器具、彫刻に利用される。

◎秋の狩場（あきのかりば）
狩りをするための特に定められている秋の山野をいう。昔、将軍や大名の狩場は、御留場といって、一般の狩猟を禁止する特別な場所であった。

◎菊吸虫（きくすいむし）
キクスイカミキリのこと。体長８～11ミリ、体は黒色。前胸の中央に赤紋がある。日本全土に分布する。幼虫は菊の茎を食べ越冬する。成虫は年に一回、五月頃発生し菊の茎を食い切って産卵をする。その結果、菊の先端部が枯れてしまうので、害虫とされる。

## 新入会員の紹介

（６月30日～７月21日）
（浅井）陣内五海・渡邉晴美（大和）小寺茂・小森淳美（千秋）後藤安徳（朝日）及川八重（小信）北島澄子（木曽川）山口勝敏
（８名）

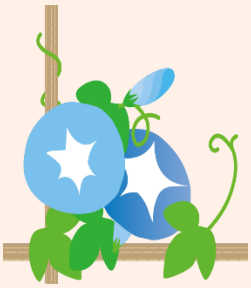
## 退会者の紹介

（６月21日～７月20日受付分）
（葉栗）大平悦孝（西成）坂井田輝雄・坂井田喜代美・寺澤愛子（大和）金山広司（今伊勢）野々垣修次・村瀬知史（奥）高尾豊子（小信）松原春義
（９名）

# 掲示板

**☆本部からのお知らせ**

◎配分金の支払日（請負）
『７月就業分』８月19日㈮

◎賃金の支払日（派遣）
『７月就業分』８月25日㈭

◎就業相談日
期日：８月25日㈭
時間：午前９時30分～正午
　　午後１時～３時30分
場所：本部、尾西・木曽川各支部